



国立大学法人 奈良国立大学機構

奈良教育大学附属中学校

資料 3

「古都奈良の文化財」を 活用した探究型地域 フィールドワーク

奈良教育大学附属中学校 教頭 有馬一彦

2026年2月13日



奈良教育大学附属中学校

Nara University of Education Junior High School

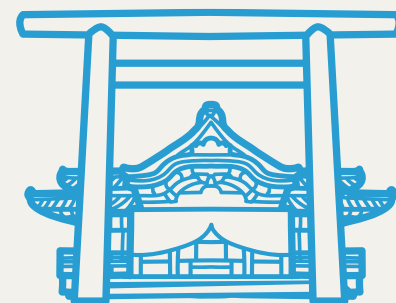


○創立78年

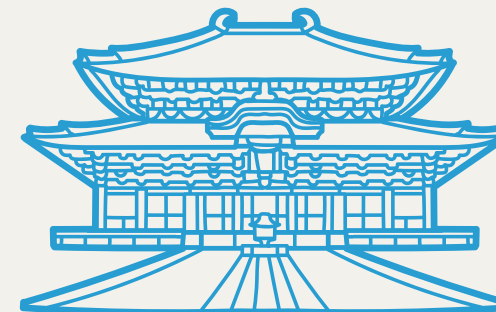
78 years since its establishment

○2008年ユネスコスクールに認定

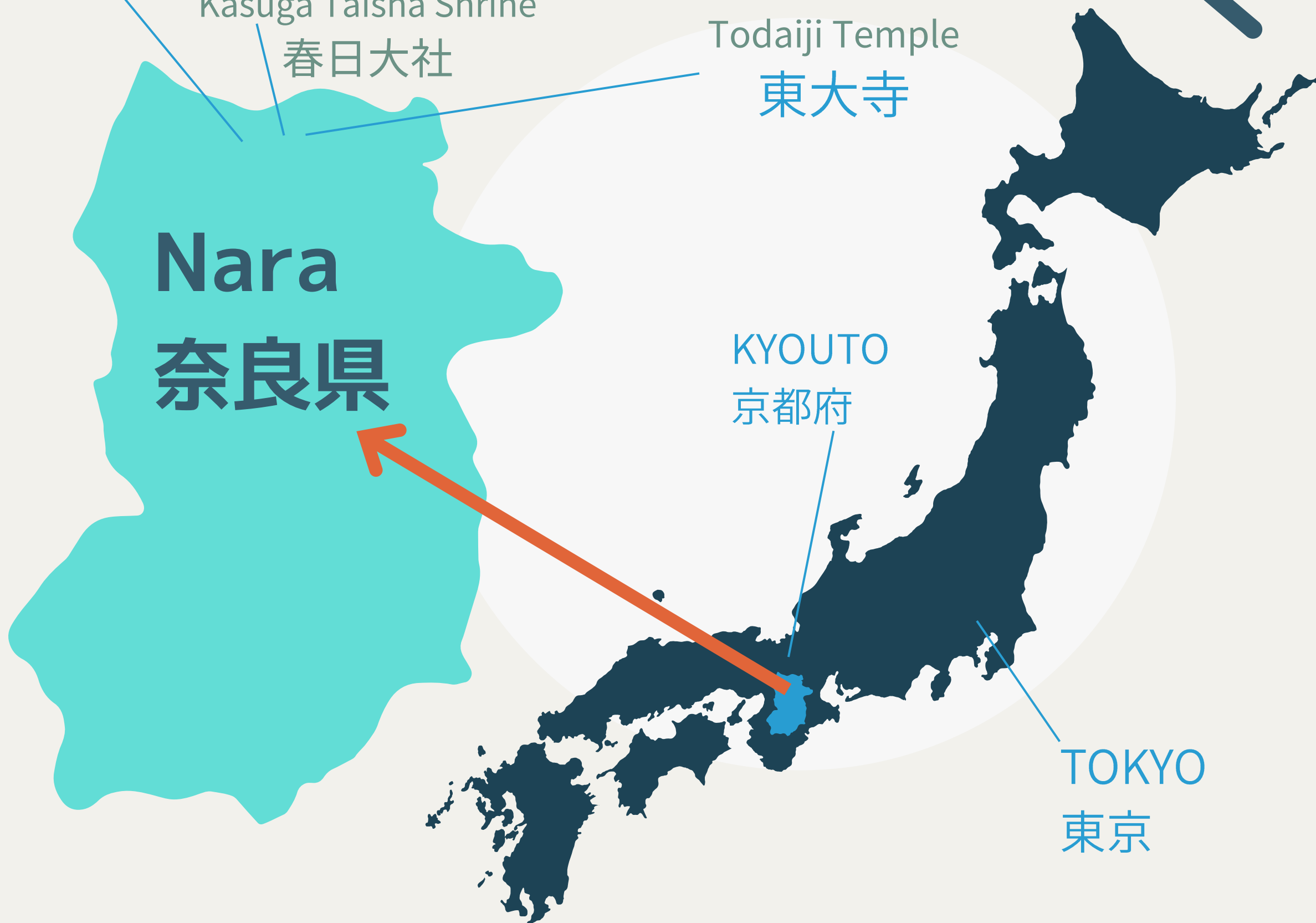
Recognized as a UNESCO School in 2008



Kasuga Taisha Shrine
春日大社



Todaiji Temple
東大寺



TOKYO
東京





南向き...▶高度上昇

1968年制定

《附中の教育目標》

- 真理を求め、平和を願い、しあわせな世の中を築く人間に
- 科学と技術の基本を身につけ、すすんでもものの本質をきわめる人間に。
- 自由と責任を重んじ、粘り強く現実を切り開く人間に。
- みんなのいのちや願いを大切にし、あい励まし合い助け合う人間に。
- 豊かなところと、たくましいからだをもち、明るく健やかに生きる人間に。



《E S Dの理念》

- 世界中の人々の尊厳と人としての権利を大切にし、社会的、経済的な公正をすべての人に保障しなければいけないと認識すること。
- 私たちには将来の世代の人々の権利を守る責任があると認識すること。
- 地球の生態系を守り、多様性に富んだ生命共同体を思いやること。
- 文化的な多様性を大切にし、地域社会、そして地球全体に『寛大・非暴力・平和』の文化をつくりだすこと。

伝統的な教育目標だが、ESDの理念や現代的な教育課題にも通じている。

《目指す学校像》

- ①教育の場で共に輝く教師と生徒
- ②学ぶ楽しさが学べる学校
- ③自由と責任、思いと行動が身につく学校

研究主題「ウェルビーイングを高めるESD探究学習の創造」

グローバルシチズンシップの獲得と社会参画できる内発型探究学習の推進

(2022年第1年次) 「内発的なESDの実践力を育てるカリキュラムマネジメントとESDカレンダー」

(2023年第2年次) 「社会と連動した学びの発進力、ケアとウェルビーイングの理論」

(2024年第3年次) 「生徒の社会参画力を育成する課題解決型(PBL)授業の創出」

(2025年) ウェルビーイングを支える学校文化の再構築(リフレーミング)

社会課題に向き合うESD探究学習とオーセンティックな学びの創造

《附中の教育目標》

- 真理を求め、平和を願い、しあわせな世の中を築く人間に
- 科学と技術の基本を身につけ、すすんでものの本質をきわめる人間に。
- 自由と責任を重んじ、粘り強く現実を切り開く人間に。
- みんなのいのちや願いを大切に、あい励まし合い助け合う人間に。
- 豊かなこころと、たくましいからだをもち、明るく健やかに生きる人間に。

- ## 《附中の教育目標》
- 真理を求め、平和を願い、しあわせな世の中を築く人間に
 - 科学と技術の基本を身につけ、すすんでものの本質をきわめる人間に。
 - 自由と責任を重んじ、粘り強く現実を切り開く人間に。
 - みんなのいのちや願いを大切に、あい励まし合い助け合う人間に。
 - 豊かなこころと、たくましいからだをもち、明るく健やかに生きる人間に。

《ESDの理念》

- 世界中の人々の尊厳と人としての権利を大切にし、社会的、経済的な公正をすべての人に保障しなければいけないと認識すること。
- 私たちに将来の世代の人々の権利を守る責任があると認識すること。
- 地球の生態系を守り、多様性に富んだ生命共同体を思いやること。
- 文化的な多様性を大切にし、地域社会、そして地球全体に『寛大・非暴力・平和』の文化をつくりだすこと。

- ## 《ESDの理念》
- 世界中の人々の尊厳と人としての権利を大切にし、社会的、経済的な公正をすべての人に保障しなければいけないと認識すること。
 - 私たちに将来の世代の人々の権利を守る責任があると認識すること。
 - 地球の生態系を守り、多様性に富んだ生命共同体を思いやること。
 - 文化的な多様性を大切にし、地域社会、そして地球全体に『寛大・非暴力・平和』の文化をつくりだすこと。

《目指す学校像》

- ①教育の場で共に輝く教師と生徒
- ②学ぶ楽しさが学べる学校
- ③自由と責任、思いと行動が身につく学校

- 《目指す学校像》
- ①教育の場で共に輝く教師と生徒
 - ②学ぶ楽しさが学べる学校
 - ③自由と責任、思いと行動が身につく学校

研究主題「ウェルビーイングを高めるESD探究学習の創造」
グローバルシチズンシップの獲得と社会参画できる内発型探究学習の推進
(2022年第1年次)「内発的なESDの実践力を育てるカリキュラムマネジメントとESDカレンダー」
(2023年第2年次)「社会と連動した学びの発達力、ケアとウェルビーイングの理論」
(2024年第3年次)「生徒の社会参画力を育成する課題解決型(PBL)授業の創出」

研究主題「ウェルビーイングを高めるESD探究学習の創造」
グローバルシチズンシップの獲得と社会参画できる内発型探究学習の推進
(2022年第1年次)「内発的なESDの実践力を育てるカリキュラムマネジメントとESDカレンダー」
(2023年第2年次)「社会と連動した学びの発達力、ケアとウェルビーイングの理論」
(2024年第3年次)「生徒の社会参画力を育成する課題解決型(PBL)授業の創出」

研究主題「ウェルビーイングを高めるESD探究学習の創造」
グローバルシチズンシップの獲得と社会参画できる内発型探究学習の推進
(2022年第1年次)「内発的なESDの実践力を育てるカリキュラムマネジメントとESDカレンダー」
(2023年第2年次)「社会と連動した学びの発達力、ケアとウェルビーイングの理論」
(2024年第3年次)「生徒の社会参画力を育成する課題解決型(PBL)授業の創出」

研究主題「ウェルビーイングを高めるESD探究学習の創造」
グローバルシチズンシップの獲得と社会参画できる内発型探究学習の推進
(2022年第1年次)「内発的なESDの実践力を育てるカリキュラムマネジメントとESDカレンダー」
(2023年第2年次)「社会と連動した学びの発達力、ケアとウェルビーイングの理論」
(2024年第3年次)「生徒の社会参画力を育成する課題解決型(PBL)授業の創出」

研究主題「ウェルビーイングを高めるESD探究学習の創造」
グローバルシチズンシップの獲得と社会参画できる内発型探究学習の推進
(2022年第1年次)「内発的なESDの実践力を育てるカリキュラムマネジメントとESDカレンダー」
(2023年第2年次)「社会と連動した学びの発達力、ケアとウェルビーイングの理論」
(2024年第3年次)「生徒の社会参画力を育成する課題解決型(PBL)授業の創出」

2024年度「総合的な学習」の年間指導計画

2024年度「総合的な学習」の年間指導計画

◇総合的な学習の実施ポイント

- ① 附中の学びの集大成である「卒業研究」を3年間の総合的な学習の中心に据え、1年生からの3年間の学びの見通しを持った上で探求活動に取り組む。
- ② 1・2年生の奈良めぐりを経路りでの活動として行い、ランドスケープなどの新たな視点から地元地域である奈良をフィールドにした探究学習のコース開発などに取り組む。
- ③ 講座形式や一斉授業形式のような受動的なインプットの学びに留まらず、対話やコラボレーション・課題解決学習などの手法を用いるなどよりアクティブな手法を取り入れ、アウトプットを意識した学びを取り入れる。
- ④ 「総合的な学習と教科」「教科と総合的な学習」との関連を意識し、相互に関連させながら柔軟なカリキュラムマネジメントに努める。
- ⑤ 生徒の学びが単なる知識習得で終わるのではなく、価値感の変容や行動化につながるような実質的な学びになるよう心がける。

- ◇総合的な学習の実施ポイント
- ① 附中の学びの集大成である「卒業研究」を3年間の総合的な学習の中心に据え、1年生からの3年間の学びの見通しを持った上で探求活動に取り組む。
 - ② 1・2年生の奈良めぐりを縦割りでの活動として行い、ランドスケープなどの新たな視点から地元地域である奈良をフィールドにした探究学習のコース開発などに取り組む。
 - ③ 講座形式や一斉授業形式のような受動的なインプットの学びに留まらず、対話やコラボレーション・課題解決学習などの手法を用いるなどよりアクティブな手法を取り入れ、アウトプットを意識した学びを取り入れる。
 - ④ 「総合的な学習と教科」「教科と総合的な学習」との関連を意識し、相互に関連させながら柔軟なカリキュラムマネジメントに努める。
 - ⑤ 生徒の学びが単なる知識習得で終わるのではなく、価値感の変容や行動化につながるような実質的な学びになるよう心がける。

◇備考

- ・1年生で「学びの技」を購入し、3年間の探究学習の資料として活用する。
- ・1・2年生の総合的な学習の時間は、合同奈良めぐりの活動のしやすさを考慮して同じ曜日時間とする。
- ・3年生の2学期後半は、授業振替とする。

- ◇備考
- ・1年生で「学びの技」を購入し、3年間の探究学習の資料として活用する。
 - ・1・2年生の総合的な学習の時間は、合同奈良めぐりの活動のしやすさを考慮して同じ曜日時間とする。
 - ・3年生の2学期後半は、授業振替とする。

	学期	1学期												夏休み		2学期												3学期																		
	月	4月			5月			6月				7月			7月	8月				9月				10月				11月				12月			1月			2月			3月					
	目的	2週目	3週目	4週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	2週目	3週目	4週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目							
1年生《前期・後期2》	・学ぶことの真の意味を理解し、自己の探究心を育てる。 ・学びの手法について知り、より広く、より深く学ぼうとする態度や姿勢を育てる。 ・先輩の学びの姿から、今後の展望を持ち、自身の研究計画につなげる。	春の奈良めぐり事前学習 オリエンテーション			奈良めぐり事後学習			《学びの技③》マインドマップ講習会 《学びの技②》ヒューリスティックストーリー学意				《学びの技④》Did you know?		《学びの技⑥》SDG's入門講演会① 《学びの技⑦》SDG's入門講演会② ようこそ先生大生バージョン				《学びの技⑧》図書検索・情報活用SNS 《学びの技⑨》ランドスケープ解説 講師招請のワークショップ講座		1・2年合同奈良めぐり 世界が100人の村だったら 1・2年合同奈良めぐり② 1・2年合同奈良めぐり③ コース別合同事前学習 卒業研究①概論・オリエンテーション 1・2年合同奈良めぐり⑤ 7つのコースでの地域フィールド学習 卒業研究②個人テーマの決定 水俣の地域を知る 修学旅行①事前学習 卒業研究⑩全校発表会												国際理解学習③ 社会見学みんぱく国際理解学習③			《学びの技⑪》グラフィックレコーディング講座 国際理解学習社会見学発表会			臨海実習に向けて 臨海実習①事前学習 《学びの技⑫》問いの立て方								
2年生《前期・後期2》	・様々な学習活動を通じて、視野を広げたり、多角的な見方を身につける。 ・地域の特徴や課題と向き合い、その対策や問題点を共有し自己の課題として取り組むことができる。	春の奈良めぐり事前学習①			春の奈良めぐり事前学習②			臨海実習①事前学習 臨海実習②事前学習 臨海実習③事前学習 臨海実習④事前学習 臨海実習⑤2泊3日 臨海実習⑥事前学習				臨海実習⑦事後学習		臨海実習⑧事後学習				1・2年合同奈良めぐり①事前学習		1・2年合同奈良めぐり 黒髪山フィールドワーク 大学研究員訪問事前学習 1・2年合同奈良めぐり⑤事前学習 1・2年合同奈良めぐり⑥事前学習 卒業研究③ゼミ別研究活動③ 卒業研究④ゼミ別研究活動④ 卒業研究⑤ゼミ別研究活動⑤ 卒業研究⑥ゼミ別研究活動⑥ 卒業研究⑦ゼミ別研究活動⑦ 卒業研究⑧ゼミ別研究活動⑧ 卒業研究⑨学級内発表会① 卒業研究⑩学級内発表会② 卒業研究⑪学級内発表会③ 卒業研究⑬まとめ												修学旅行②事前学習 黒髪山フィールドワーク			卒業研究に向けて 京都フィードバック①事前 京都フィードバック②事前 京都フィードバック③事後 修学旅行⑥事前学習 相思社オンライン講座 修学旅行⑦事前学習 京都フィールパーク④事後まとめ 京都フィールパーク⑤学年発表 卒業研究⑦ゼミ別面談① 卒業研究⑧ゼミ別面談②											
3年生《前期後期2》	・人々の平和や幸せについて考え、自己の研究テーマに基づいて探求活動を行い、仲間や保護者など外部へ発信ができる。 ・地域の課題や問題に目を向け、自らも参画できる態度や意欲を育てる。	水俣病の原因を知る 修学旅行①事前学習			修学旅行②事前学習			修学旅行③事前学習 修学旅行④事前学習 修学旅行⑤事後学習文集中作業				卒業研究①ゼミ別探究活動①		卒業研究②ゼミ別探究活動②				卒業研究③ゼミ別探究活動③				卒業研究④ゼミ別探究活動④				卒業研究 卒業研究⑤ゼミ別探究活動⑤ 卒業研究⑥ゼミ別探究活動⑥ 卒業研究⑦ゼミ別探究活動⑦ 卒業研究⑧ゼミ別探究活動⑧ 卒業研究⑨学級内発表会① 卒業研究⑩学級内発表会② 卒業研究⑪学級内発表会③ 卒業研究⑬まとめ																				

《附中の教育目標》

○真理を求め、平和を願い、しあわせな世の中を築く人間に
○科学と技術の基本を身に付け、すすみものの本質をきわめる人間に。
○自由と責任を重んじ、粘り強く現実を切り開く人間に。
○みんなのいのちや願いを大切にし、あい励まし合い助け合う人間に。
○豊かなことと、たくましいからだをもち、明るく健やかに生きる人間に。

《E S Dの理念》

○世界中の人々の尊厳と人としての権利を大切にし、社会的、経済的な公正をすべての人に保障しなければいけないと認識すること。
○私たちには将来の世代の人々の権利を守る責任があると認識すること。
○地球の生態系を守り、多様性に富んだ生命共同体を思いやること。
○文化的な多様性を大切にし、地域社会、そして地球全体に『寛大・非暴力・平和』の文化をつくりだすこと。

《目指す学校像》

①教育の場で共に輝く教師と生徒
②学ぶ楽しさが学べる学校
③自由と責任、思いと行動が身につく学校

研究主題「ウェルビーイングを高めるESD探究学習の創造」

グローバルシチズンシップの獲得と社会参画できる内発型探究学習の推進
(2022年第1年次)「内発的なESDの実践力を育てるカリキュラムマネジメントとESDカレンダー」
(2023年第2年次)「社会と連動した学びの発進力、ケアとウェルビーイングの理論」
(2024年第3年次)「生徒の社会参画力を育成する課題解決型（PBL）授業の創出」

2024年度「総合的な学習」の年間指導計画

奈良教育大学附属中学校

- ◇総合的な学習の実施ポイント
- ①附中の学びの集大成である「卒業研究」を3年間の総合的な学習の中心に据え、1年生からの3年間の学びの見通しを持った上で探求活動に取り組む。
②1・2年生の奈良めぐりを縦割りでの活動として行い、ランドスケープなどの新たな視点から地元地域である奈良をフィールドにした探究学習のコース開発などに取り組む。
③講座形式や一斉授業形式のような受動的なインプットの学びに留まらず、対話やコラボレーション・課題解決学習などの手法を用いるなどよりアクティブな手法を取り入れ、アウトプットを意識した学びを取り入れる。
④「総合的な学習と教科」「教科と総合的な学習」との関連を意識し、相互に関連させながら柔軟なカリキュラムマネジメントに努める。
⑤生徒の学びが単なる知識習得で終わるのではなく、価値感の変容や行動化につながるような実質的な学びになるよう心がける。
- ◇備考
- ・1年生で「学びの技」を購入し、3年間の探究学習の資料として活用する。
・1・2年生の総合的な学習の時間は、合同奈良めぐりの活動のしやすさを考慮して同じ曜日時間とする。
・3年生の2学期後半は、授業振替とする。

	学期	1学期												夏休み		2学期												3学期																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																											
	月	4月			5月			6月				7月		7月	8月					9月		10月						月	1月			2月			3月																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
	目的	2週目	3週目	4週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
1年生《前期1・後期2》	・学ぶことの真の意味を理解し、自己の探究心を育てる。 ・学びの手法について知り、より広く、より深く学ぼうとする態度や姿勢を育てる。 ・先輩の学びの姿から、今後の展望を持ち、自身の研究計画につなげる。	春の奈良めぐり事前学習 オリエンテーション			《学びの技①》クロームブックの活用			奈良めぐり事後学習				《学びの技②》《ビッグヒストリー》学びの意味		《学びの技③》マインドマップ講習会		《学びの技④》Did you know?		《学びの技⑤》SDGs入門講演会①		《学びの技⑥》事後学芸会講演会②		よつて先輩大学生バージョン		《学びの技⑦》SDGs入門講演会③		《学びの技⑧》SDGs入門講演会④		《学びの技⑨》ランドスケープ解説		《学びの技⑩》講師招聘ワークショップ		《学びの技⑪》SDGs入門講演会⑤		《学びの技⑫》SDGs入門講演会⑥		《学びの技⑬》SDGs入門講演会⑦		《学びの技⑭》SDGs入門講演会⑧		《学びの技⑮》SDGs入門講演会⑨		《学びの技⑯》SDGs入門講演会⑩		《学びの技⑰》SDGs入門講演会⑪		《学びの技⑱》SDGs入門講演会⑫		《学びの技⑲》SDGs入門講演会⑬		《学びの技⑳》SDGs入門講演会⑭		《学びの技㉑》SDGs入門講演会⑮		《学びの技㉒》SDGs入門講演会⑯		《学びの技㉓》SDGs入門講演会⑰		《学びの技㉔》SDGs入門講演会⑱		《学びの技㉕》SDGs入門講演会⑲		《学びの技㉖》SDGs入門講演会⑳		《学びの技㉗》SDGs入門講演会㉑		《学びの技㉘》SDGs入門講演会㉒		《学びの技㉙》SDGs入門講演会㉓		《学びの技㉚》SDGs入門講演会㉔		《学びの技㉛》SDGs入門講演会㉕		《学びの技㉜》SDGs入門講演会㉖		《学びの技㉝》SDGs入門講演会㉗		《学びの技㉞》SDGs入門講演会㉘		《学びの技㉟》SDGs入門講演会㉙		《学びの技㊱》SDGs入門講演会㉚		《学びの技㊲》SDGs入門講演会㉛		《学びの技㊳》SDGs入門講演会㉜		《学びの技㊴》SDGs入門講演会㉝		《学びの技㊵》SDGs入門講演会㉞		《学びの技㊶》SDGs入門講演会㉟		《学びの技㊷》SDGs入門講演会㊱		《学びの技㊸》SDGs入門講演会㊲		《学びの技㊹》SDGs入門講演会㊳		《学びの技㊺》SDGs入門講演会㊴		《学びの技㊻》SDGs入門講演会㊵		《学びの技㊼》SDGs入門講演会㊶		《学びの技㊽》SDGs入門講演会㊷		《学びの技㊾》SDGs入門講演会㊸		《学びの技㊿》SDGs入門講演会㊹		《学びの技㋀》SDGs入門講演会㊺		《学びの技㋁》SDGs入門講演会㋀		《学びの技㋂》SDGs入門講演会㋁		《学びの技㋃》SDGs入門講演会㋂		《学びの技㋄》SDGs入門講演会㋃		《学びの技㋅》SDGs入門講演会㋄		《学びの技㋆》SDGs入門講演会㋅		《学びの技㋇》SDGs入門講演会㋆		《学びの技㋈》SDGs入門講演会㋇		《学びの技㋉》SDGs入門講演会㋈		《学びの技㋊》SDGs入門講演会㋉		《学びの技㋋》SDGs入門講演会㋊		《学びの技㋌》SDGs入門講演会㋋		《学びの技㋍》SDGs入門講演会㋌		《学びの技㋎》SDGs入門講演会㋍		《学びの技㋏》SDGs入門講演会㋎		《学びの技㋐》SDGs入門講演会㋏		《学びの技㋑》SDGs入門講演会㋐		《学びの技㋒》SDGs入門講演会㋑		《学びの技㋓》SDGs入門講演会㋒		《学びの技㋔》SDGs入門講演会㋓		《学びの技㋕》SDGs入門講演会㋔		《学びの技㋖》SDGs入門講演会㋕		《学びの技㋗》SDGs入門講演会㋖		《学びの技㋘》SDGs入門講演会㋗		《学びの技㋙》SDGs入門講演会㋘		《学びの技㋚》SDGs入門講演会㋙		《学びの技㋛》SDGs入門講演会㋚		《学びの技㋜》SDGs入門講演会㋜		《学びの技㋝》SDGs入門講演会㋝		《学びの技㋞》SDGs入門講演会㋞		《学びの技㋟》SDGs入門講演会㋟		《学びの技㋠》SDGs入門講演会㋠		《学びの技㋡》SDGs入門講演会㋡		《学びの技㋢》SDGs入門講演会㋢		《学びの技㋣》SDGs入門講演会㋣		《学びの技㋤》SDGs入門講演会㋤		《学びの技㋥》SDGs入門講演会㋥		《学びの技㋦》SDGs入門講演会㋦		《学びの技㋧》SDGs入門講演会㋧		《学びの技㋨》SDGs入門講演会㋨		《学びの技㋩》SDGs入門講演会㋩		《学びの技㋪》SDGs入門講演会㋪		《学びの技㋫》SDGs入門講演会㋫		《学びの技㋬》SDGs入門講演会㋬		《学びの技㋭》SDGs入門講演会㋭		《学びの技㋮》SDGs入門講演会㋮		《学びの技㋯》SDGs入門講演会㋯		《学びの技㋰》SDGs入門講演会㋰		《学びの技㋱》SDGs入門講演会㋱		《学びの技㋲》SDGs入門講演会㋲		《学びの技㋳》SDGs入門講演会㋳		《学びの技㋴》SDGs入門講演会㋴		《学びの技㋵》SDGs入門講演会㋵		《学びの技㋶》SDGs入門講演会㋶		《学びの技㋷》SDGs入門講演会㋷		《学びの技㋸》SDGs入門講演会㋸		《学びの技㋹》SDGs入門講演会㋹		《学びの技㋺》SDGs入門講演会㋺		《学びの技㋻》SDGs入門講演会㋻		《学びの技㋼》SDGs入門講演会㋼		《学びの技㋽》SDGs入門講演会㋽		《学びの技㋾》SDGs入門講演会㋾		《学びの技㋿》SDGs入門講演会㋿		《学びの技㊀》SDGs入門講演会㊀		《学びの技㊁》SDGs入門講演会㊁		《学びの技㊂》SDGs入門講演会㊂		《学びの技㊃》SDGs入門講演会㊃		《学びの技㊄》SDGs入門講演会㊄		《学びの技㊅》SDGs入門講演会㊅		《学びの技㊆》SDGs入門講演会㊆		《学びの技㊇》SDGs入門講演会㊇		《学びの技㊈》SDGs入門講演会㊈		《学びの技㊉》SDGs入門講演会㊉		《学びの技㊊》SDGs入門講演会㊊		《学びの技㊋》SDGs入門講演会㊋		《学びの技㊌》SDGs入門講演会㊌		《学びの技㊍》SDGs入門講演会㊍		《学びの技㊎》SDGs入門講演会㊎		《学びの技㊏》SDGs入門講演会㊏		《学びの技㊐》SDGs入門講演会㊐		《学びの技㊑》SDGs入門講演会㊑		《学びの技㊒》SDGs入門講演会㊒		《学びの技㊓》SDGs入門講演会㊓		《学びの技㊔》SDGs入門講演会㊔		《学びの技㊕》SDGs入門講演会㊕		《学びの技㊖》SDGs入門講演会㊖		《学びの技㊗》SDGs入門講演会㊗		《学びの技㊘》SDGs入門講演会㊘		《学びの技㊙》SDGs入門講演会㊙		《学びの技㊚》SDGs入門講演会㊚		《学びの技㊛》SDGs入門講演会㊛		《学びの技㊜》SDGs入門講演会㊜		《学びの技㊝》SDGs入門講演会㊝		《学びの技㊞》SDGs入門講演会㊞		《学びの技㊟》SDGs入門講演会㊟		《学びの技㊰》SDGs入門講演会㊰		《学びの技㊱》SDGs入門講演会㊱		《学びの技㊲》SDGs入門講演会㊲		《学びの技㊳》SDGs入門講演会㊳		《学びの技㊴》SDGs入門講演会㊴		《学びの技㊵》SDGs入門講演会㊵		《学びの技㊶》SDGs入門講演会㊶		《学びの技㊷》SDGs入門講演会㊷		《学びの技㊸》SDGs入門講演会㊸		《学びの技㊹》SDGs入門講演会㊹		《学びの技㊺》SDGs入門講演会㊺		《学びの技㊻》SDGs入門講演会㊻		《学びの技㊼》SDGs入門講演会㊼		《学びの技㊽》SDGs入門講演会㊽		《学びの技㊾》SDGs入門講演会㊾		《学びの技㊿》SDGs入門講演会㊿		《学びの技㋀》SDGs入門講演会㋀		《学びの技㋁》SDGs入門講演会㋁		《学びの技㋂》SDGs入門講演会㋂		《学びの技㋃》SDGs入門講演会㋃		《学びの技㋄》SDGs入門講演会㋄		《学びの技㋅》SDGs入門講演会㋅		《学びの技㋆》SDGs入門講演会㋆		《学びの技㋇》SDGs入門講演会㋇		《学びの技㋈》SDGs入門講演会㋈		《学びの技㋉》SDGs入門講演会㋉		《学びの技㋊》SDGs入門講演会㋊		《学びの技㋋》SDGs入門講演会㋋		《学びの技㋌》SDGs入門講演会㋌		《学びの技㋍》SDGs入門講演会㋍		《学びの技㋎》SDGs入門講演会㋎		《学びの技㋏》SDGs入門講演会㋏		《学びの技㋐》SDGs入門講演会㋐		《学びの技㋑》SDGs入門講演会㋑		《学びの技㋒》SDGs入門講演会㋒		《学びの技㋓》SDGs入門講演会㋓		《学びの技㋔》SDGs入門講演会㋔		《学びの技㋕》SDGs入門講演会㋕		《学びの技㋖》SDGs入門講演会㋖		《学びの技㋗》SDGs入門講演会㋗		《学びの技㋘》SDGs入門講演会㋘		《学びの技㋙》SDGs入門講演会㋙		《学びの技㋚》SDGs入門講演会㋚		《学びの技㋛》SDGs入門講演会㋛		《学びの技㋜》SDGs入門講演会㋜		《学びの技㋝》SDGs入門講演会㋝		《学びの技㋞》SDGs入門講演会㋞		《学びの技㋟》SDGs入門講演会㋟		《学びの技㋠》SDGs入門講演会㋠		《学びの技㋡》SDGs入門講演会㋡		《学びの技㋢》SDGs入門講演会㋢		《学びの技㋣》SDGs入門講演会㋣		《学びの技㋤》SDGs入門講演会㋤		《学びの技㋥》SDGs入門講演会㋥		《学びの技㋦》SDGs入門講演会㋦		《学びの技㋧》SDGs入門講演会㋧		《学びの技㋨》SDGs入門講演会㋨		《学びの技㋩》SDGs入門講演会㋩		《学びの技㋪》SDGs入門講演会㋪		《学びの技㋫》SDGs入門講演会㋫		《学びの技㋬》SDGs入門講演会㋬		《学びの技㋭》SDGs入門講演会㋭		《学びの技㋮》SDGs入門講演会㋮		《学びの技㋯》SDGs入門講演会㋯		《学びの技㋰》SDGs入門講演会㋰		《学びの技㋱》SDGs入門講演会㋱		《学びの技㋲》SDGs入門講演会㋲		《学びの技㋳》SDGs入門講演会㋳		《学びの技㋴》SDGs入門講演会㋴		《学びの技㋵》SDGs入門講演会㋵		《学びの技㋶》SDGs入門講演会㋶		《学びの技㋷》SDGs入門講演会㋷		《学びの技㋸》SDGs入門講演会㋸		《学びの技㋹》SDGs入門講演会㋹		《学びの技㋺》SDGs入門講演会㋺		《学びの技㋻》SDGs入門講演会㋻		《学びの技㋼》SDGs入門講演会㋼		《学びの技㋽》SDGs入門講演会㋽		《学びの技㋾》SDGs入門講演会㋾		《学びの技㋿》SDGs入門講演会㋿		《学びの技㊀》SDGs入門講演会㊀		《学びの技㊁》SDGs入門講演会㊁		《学びの技㊂》SDGs入門講演会㊂		《学びの技㊃》SDGs入門講演会㊃		《学びの技㊄》SDGs入門講演会㊄		《学びの技㊅》SDGs入門講演会㊅		《学びの技㊆》SDGs入門講演会㊆		《学びの技㊇》SDGs入門講演会㊇		《学びの技㊈》SDGs入門講演会㊈		《学びの技㊉》SDGs入門講演会㊉		《学びの技㊊》SDGs入門講演会㊊		《学びの技㊋》SDGs入門講演会㊋		《学びの技㊌》SDGs入門講演会㊌		《学びの技㊍》SDGs入門講演会㊍		《学びの技㊎》SDGs入門講演会㊎		《学びの技㊏》SDGs入門講演会㊏		《学びの技㊐》SDGs入門講演会㊐		《学びの技㊑》SDGs入門講演会㊑		《学びの技㊒》SDGs入門講演会㊒		《学びの技㊓》SDGs入門講演会㊓		《学びの技㊔》SDGs入門講演会㊔		《学びの技㊕》SDGs入門講演会㊕		《学びの技㊖》SDGs入門講演会㊖		《学びの技㊗》SDGs入門講演会㊗		《学びの技㊘》SDGs入門講演会㊘		《学びの技㊙》SDGs入門講演会㊙		《学びの技㊚》SDGs入門講演会㊚		《学びの技㊛》SDGs入門講演会㊛		《学びの技㊜》SDGs入門講演会㊜		《学びの技㊝》SDGs入門講演会㊝		《学びの技㊞》SDGs入門講演会㊞		《学びの技㊟》SDGs入門講演会㊟		《学びの技㊰》SDGs入門講演会㊰		《学びの技㊱》SDGs入門講演会㊱		《学びの技㊲》SDGs入門講演会㊲		《学びの技㊳》SDGs入門講演会㊳		《学びの技㊴》SDGs入門講演会㊴		《学びの技㊵》SDGs入門講演会㊵		《学びの技㊶》SDGs入門講演会㊶		《学びの技㊷》SDGs入門講演会㊷		《学びの技㊸》SDGs入門講演会㊸		《学びの技㊹》SDGs入門講演会㊹		《学びの技㊺》SDGs入門講演会㊺		《学びの技㊻》SDGs入門講演会㊻		《学びの技㊼》SDGs入門講演会㊼		《学びの技㊽》SDGs入門講演会㊽		《学びの技㊾》SDGs入門講演会㊾		《学びの技㊿》SDGs入門講演会㊿		《学びの技㋀》SDGs入門講演会㋀		《学びの技㋁》SDGs入門講演会㋁		《学びの技㋂》SDGs入門講演会㋂		《学びの技㋃》SDGs入門講演会㋃		《学びの技㋄》SDGs入門講演会㋄		《学びの技㋅》SDGs入門講演会㋅		《学びの技㋆》SDGs入門講演会㋆		《学びの技㋇》SDGs入門講演会㋇		《学びの技㋈》SDGs入門講演会㋈		《学びの技㋉》SDGs入門講演会㋉		《学びの技㋊》SDGs入門講演会㋊		《学びの技㋋》SDGs入門講演会㋋		《学びの技㋌》SDGs入門講演会㋌		《学びの技㋍》SDGs入門講演会㋍		《学びの技㋎》SDGs入門講演会㋎		《学びの技㋏》SDGs入門講演会㋏		《学びの技㋐》SDGs入門講演会㋐		《学びの技㋑》SDGs入門講演会㋑		《学びの技㋒》SDGs入門講演会㋒		《学びの技㋓》SDGs入門講演会㋓		《学びの技㋔》SDGs入門講演会㋔		《学びの技㋕》SDGs入門講演会㋕		《学びの技㋖》SDGs入門講演会㋖		《学びの技㋗》SDGs入門講演会㋗		《学びの技㋘》SDGs入門講演会㋘		《学びの技㋙》SDGs入門講演会㋙		《学びの技㋚》SDGs入門講演会㋚		《学びの技㋛》SDGs入門講演会㋛		《学びの技㋜》SDGs入門講演会㋜		《学びの技㋝》SDGs入門講演会㋝		《学びの技㋞》SDGs入門講演会㋞		《学びの技㋟》SDGs入門講演会㋟		《学びの技㋠》SDGs入門講演会㋠		《学びの技㋡》SDGs入門講演会㋡		《学びの技㋢》SDGs入門講演会㋢		《学びの技㋣》SDGs入門講演会㋣		《学びの技㋤》SDGs入門講演会㋤		《学びの技㋥》SDGs入門講演会㋥		《学びの技㋦》SDGs入門講演会㋦		《学びの技㋧》SDGs入門講演会㋧		《学びの技㋨》SDGs入門講演会㋨		《学びの技㋩》SDGs入門講演会㋩		《学びの技㋪》SDGs入門講演会㋪		《学びの技㋫》SDGs入門講演会㋫		《学びの技㋬》SDGs入門講演会㋬		《学びの技㋭》SDGs入門講演会㋭		《学びの技㋮》SDGs入門講演会㋮		《学びの技㋯》SDGs入門講演会㋯		《学びの技㋰》SDGs入門講演会㋰		《学びの技㋱》SDGs入門講演会㋱		《学びの技㋲》SDGs入門講演会㋲		《学びの技㋳》SDGs入門講演会㋳		《学びの技㋴》SDGs入門講演会㋴		《学びの技㋵》SDGs入門講演会㋵		《学びの技㋶》SDGs入門講演会㋶		《学びの技㋷》SDGs入門講演会㋷		《学びの技㋸》SDGs入門講演会㋸		《学びの技㋹》SDGs入門講演会㋹		《学びの技㋺》SDGs入門講演会㋺		《学びの技㋻》SDGs入門講演会㋻		《学びの技㋼》SDGs入門講演会㋼		《学びの技㋽》SDGs入門講演会㋽		《学びの技㋾》SDGs入門講演会㋾		《学びの技㋿》SDGs入門講演会㋿		《学びの技㊀》SDGs入門講演会㊀		《学びの技㊁》SDGs入門講演会㊁		《学びの技㊂》SDGs入門講演会㊂		《学びの技㊃》SDGs入門講演会㊃		《学びの技㊄》SDGs入門講演会㊄		《学びの技㊅》SDGs入門講演会㊅		《学びの技㊆》SDGs入門講演会㊆		《学びの技㊇》SDGs入門講演会㊇		《学びの技㊈》SDGs入門講演会㊈		《学びの技㊉》SDGs入門講演会㊉		《学びの技㊊》SDGs入門講演会㊊		《学びの技㊋》SDGs入門講演会㊋		《学びの技㊌》SDGs入門講演会㊌		《学びの技㊍》SDGs入門講演会㊍		《学びの技㊎》SDGs入門講演会㊎		《学びの技㊏》SDGs入門講演会㊏		《学びの技㊐》SDGs入門講演会㊐		《学びの技㊑》SDGs入門講演会㊑		《学びの技㊒》SDGs入門講演会㊒		《学びの技㊓》SDGs入門講演会㊓		《学びの技㊔》SDGs入門講演会㊔		《学びの技㊕》SDGs入門講演会㊕		《学びの技㊖》SDGs入門講演会㊖		《学びの技㊗》SDGs入門講演会㊗		《学びの技㊘》SDGs入門講演会㊘		《学びの技㊙》SDGs入門講演会㊙		《学びの技㊚》SDGs入門講演会㊚		《学びの技㊛》SDGs入門講演会㊛		《学びの技㊜》SDGs入門講演会㊜		《学びの技㊝》SDGs入門講演会㊝		《学びの技㊞》SDGs入門講演会㊞		《学びの技㊟》SDGs入門講演会㊟		《学びの技㊰》SDGs入門講演会㊰		《学びの技㊱》SDGs入門講演会㊱		《学びの技㊲》SDGs入門講演会㊲		《学びの技㊳》SDGs入門講演会㊳		《学びの技㊴》SDGs入門講演会㊴		《学びの技㊵》SDGs入門講演会㊵		《学びの技㊶》SDGs入門講演会㊶		《学びの技㊷》SDGs入門講演会㊷		《学びの技㊸》SDGs入門講演会㊸		《学びの技㊹》SDGs入門講演会㊹		《学びの技㊺》SDGs入門講演会㊺		《学びの技㊻》SDGs入門講演会㊻		《学びの技㊼》SDGs入門講演会㊼		《学びの技㊽》SDGs入門講演会㊽		《学びの技㊾》SDGs入門講演会㊾		《学びの技㊿》SDGs入門講演会㊿		《学びの技㋀》SDGs入門講演会㋀		《学びの技㋁》SDGs入門講演会㋁		《学びの技㋂》SDGs入門講演会㋂		《学びの技㋃》SDGs入門講演会㋃		《学びの技㋄》SDGs入門講演会㋄		《学びの技㋅》SDGs入門講演会㋅		《学びの技㋆》SDGs入門講演会㋆		《学びの技㋇》SDGs入門講演会㋇		《学びの技㋈》SDGs入門講演会㋈		《学びの技㋉》SDGs入門講演会㋉		《学びの技㋊》SDGs入門講演会㋊		《学びの技㋋》SDGs入門講演会㋋		《学びの技㋌》SDGs入門講演会㋌		《学びの技㋍》SDGs入門講演会㋍		《学びの技㋎》SDGs入門講演会㋎		《学びの技㋏》SDGs入門講演会㋏		《学びの技㋐》SDGs入門講演会㋐		《学びの技㋑》SDGs入門講演会㋑		《学びの技㋒》SDGs入門講演会㋒		《学びの技㋓》SDGs入門講演会㋓		《学びの技㋔》SDGs入門講演会㋔		《学びの技㋕》SDGs入門講演会㋕		《学びの技㋖》SDGs入門講演会㋖		《学びの技㋗》SDGs入門講演会㋗		《学びの技㋘》SDGs入門講演会㋘		《学びの技㋙》SDGs入門講演会㋙		《学びの技㋚》SDGs入門講演会㋚		《学びの技㋛》SDGs入門講演会㋛		《学びの技㋜》SDGs入門講演会㋜		《学びの技㋝》SDGs入門講演会㋝		《学びの技㋞》SDGs入門講演会㋞		《学びの技㋟》SDGs入門講演会㋟		《学びの技㋠》SDGs入門講演会㋠		《学びの技㋡》SDGs入門講演会㋡		《学びの技㋢》SDGs入門講演会㋢		《学びの技㋣》SDGs入門講演会㋣		《学びの技㋤》SDGs入門講演会㋤		《学びの技㋥》SDGs入門講演会㋥		《学びの技㋦》SDGs入門講演会㋦		《学びの技㋧》SDGs入門講演会㋧		《学びの技㋨》SDGs入門講演会㋨		《学びの技㋩》SDGs入門講演会㋩		《学びの技㋪》SDGs入門講演会㋪		《学びの技㋫》SDGs入門講演会㋫		《学びの技㋬》SDGs入門講演会㋬		《学びの技㋭》SDGs入門講演会㋭		《学びの技㋮》SDGs入門講演会㋮		《学びの技㋯》SDGs入門講演会㋯		《学びの技㋰》SDGs入門講演会㋰		《学びの技㋱》SDGs入門講演会㋱		《学びの技㋲》SDGs入門講演会㋲		《学びの技㋳》SDGs入門講演会㋳		《学びの技㋴》SDGs入門講演会㋴		《学びの技㋵》SDGs入門講演会㋵		《学びの技㋶》SDGs入門講演会㋶		《学びの技㋷》SDGs入門講演会㋷		《学びの技㋸》SDGs入門講演会㋸		《学びの技㋹》SDGs入門講演会㋹		《学びの技㋺》SDGs入門講演会㋺		《学びの技㋻》SDGs入門講演会㋻		《学びの技㋼》SDGs入門講演会㋼		《学びの技㋽》SDGs入門講演会㋽		《学びの技㋾》SDGs入門講演会㋾		《学びの技㋿》SDGs入門講演会㋿		《学びの技㊀》SDGs入門講演会㊀		《学びの技㊁》SDGs入門講演会㊁		《学びの技㊂》SDGs入門講演会㊂		《学びの技㊃》SDGs入門講演会㊃		《学びの技㊄》SDGs入門講演会㊄		《学びの技㊅》SDGs入門講演会㊅		《学びの技㊆》SDGs入門講演会㊆		《学びの技㊇》SDGs入門講演会㊇		《学びの技㊈》SDGs入門講演会㊈		《学びの技㊉》SDGs入門講演会㊉		《学びの技㊊》SDGs入門講演会㊊		《学びの技㊋》SDGs入門講演会㊋		《学びの技㊌》SDGs入門講演会㊌		《学びの技㊍》SDGs入門講演会㊍		《学びの技㊎》SDGs入門講演会㊎		《学びの技㊏》SDGs入門講演会㊏		《学びの技㊐》SDGs入門講演会㊐		《学びの技㊑》SDGs入門講演会㊑		《学びの技㊒》SDGs入門講演会㊒		《学びの技㊓》SDGs入門講演会㊓		《学びの技㊔》SDGs入門講演会㊔		《学びの技㊕》SDGs入門講演会㊕		《学びの技㊖》SDGs入門講演会㊖		《学びの技㊗》SDGs入門講演会㊗		《学びの技㊘》SDGs入門講演会㊘		《学びの技㊙》SDGs入門講演会㊙		《学びの技㊚》SDGs入門講演会㊚		《学びの技㊛》SDGs入門講演会㊛		《学びの技㊜》SDGs入門講演会㊜		《学びの技㊝》SDGs入門講演会㊝		《学びの技㊞》SDGs入門講演会㊞		《学びの技㊟》SDGs入門講演会㊟		《学びの技㊰》SDGs入門講演会㊰		《学びの技㊱》SDGs入門講演会㊱		《学びの技㊲》SDGs入門講演会㊲		《学びの技㊳》SDGs入門講演会㊳		《学びの技㊴》SDGs入門講演会㊴		《学びの技㊵》SDGs入門講演会㊵		《学びの技㊶》SDGs入門講演会㊶		《学びの技㊷》SDGs入門講演会㊷		《学びの技㊸》SDGs入門講演会㊸		《学びの技㊹》SDGs入門講演会㊹		《学びの技㊺》SDGs入門講演会㊺		《学びの技㊻》SDGs入門講演会㊻	

世界遺産から学ぶために、、、

ランドスケープ講座

奈良県立大学地域創造学部 教授 井原縁先生



マインドセット



探究の学び



奈良らしい景色とは？

景色が語りかけることは？

景色からわかる奈良の魅力とは？

ディスカッション
「私の考える奈良らしい景色とは？」

世界遺産から学ぶために、、



何気なくみている日常の風景から
私たちは何を感じ取っているのか？

「奈良らしさ」とは？その価値とは？

見方を変えることで、
新たにわかることがある。



奈良公園の特徴がわかりますか？



ディアライン

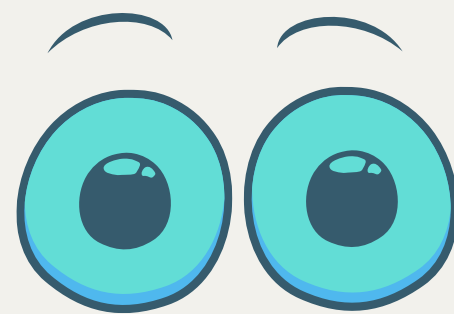


NARA-photo



見え方が変わりましたか？





奈良らしい景色がわかる目
が育ったのでしょうか？

《附中の教育目標》

- 真理を求め、平和を願い、しあわせな世の中を築く人間に
- 科学と技術の基本を身につけ、すすんでものの本質をきわめる人間に。
- 自由と責任を重んじ、粘り強く現実を切り開く人間に。
- みんなのいのちや願いを大切に、あい励まし合い助け合う人間に。
- 豊かなこころと、たくましいからだをもち、明るく健やかに生きる人間に。

《ESDの理念》

- 世界中の人々の尊厳と人としての権利を大切にし、社会的、経済的な公正をすべての人に保障しなければいけないと認識すること。
- 私たちには将来の世代の人々の権利を守る責任があると認識すること。
- 地球の生態系を守り、多様性に富んだ生命共同体を思いやること。
- 文化的な多様性を大切にし、地域社会、そして地球全体に『寛大・非暴力・平和』の文化をつくりだすこと。

《目指す学校像》

- ①教育の場で共に輝く教師と生徒
- ②学ぶ楽しさが学べる学校
- ③自由と責任、思いと行動が身につく学校

研究主題「ウェルビーイングを高めるESD探究学習の創造」

グローバルシチズンシップの獲得と社会参画できる内発型探究学習の推進

(2022年第1年次) 「内発的なESDの実践力を育てるカリキュラムマネジメントとESDカレンダー」

(2023年第2年次) 「社会と連動した学びの発達力、ケアとウェルビーイングの理論」

(2024年第3年次) 「生徒の社会参画力を育成する課題解決型(PBL)授業の創出」

2024年度「総合的な学習」の年間指導計画

奈良教育大学附属中学校

◇総合的な学習の実施ポイント

- ① 附中の学びの集大成である「卒業研究」を３年間の総合的な学習の中心に据え、１年生からの３年間の学びの見通しを持った上で探究活動に取り組む。
- ② １・２年生の奈良めぐりを線割りでの活動として行い、ランドスケープなどの新たな視点から地元地域である奈良をフィールドにした探究学習のコース開発などに取り組む。
- ③ 講座形式や一斉授業形式のような受動的なインプットの学びに留まらず、対話やコラボレーション・課題解決学習などの手法を用いるなどよりアクティブな手法を取り入れ、アウトプットを意識した学びを取り入れる。
- ④ 「総合的な学習と教科」「教科と総合的な学習」との関連を意識し、相互に関連させながら柔軟なカリキュラムマネジメントに努める。
- ⑤ 生徒の学びが単なる知識習得で終わるのではなく、価値感の変容や行動化につながるような実質的な学びになるよう心がける。

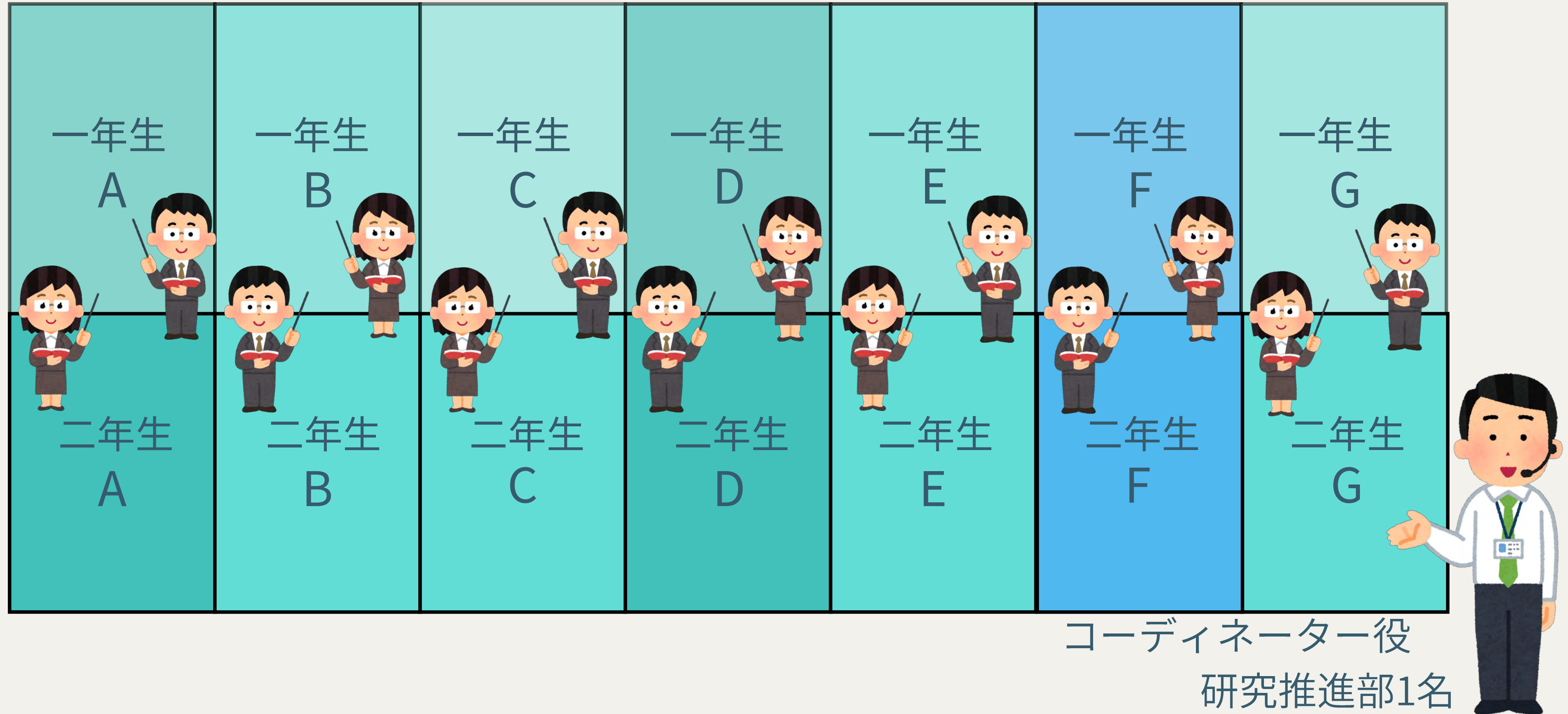
◇備考

- ・1年生で「学びの技」を購入し、3年間の探究学習の資料として活用する。
- ・1・2年生の総合的な学習の時間は、合同奈良めぐりの活動のしやすさを考慮して同じ曜日時間とする。
- ・3年生の2学期後半は、授業振替とする。

学年	1学期												夏休み		2学期												3学期																		
	4月			5月			6月				7月			7月	8月				9月				10月				11月				12月			1月			2月			3月					
	2週目	3週目	4週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目	3週目	2週目	3週目	4週目	2週目	3週目	4週目	1週目	2週目							
1年生《前期1・後期2》	・学ぶことの真の意味を理解し、自己の探究心を育てる。 ・学びの手法について知り、より深く学ぼうとする態度や姿勢を育てる。 ・先輩の学びの姿から、今後の展望を持ち、自身の研究計画につなげる。												「学び方を学ぶ 学びの技」												1・2年合同奈良めぐり												臨海実習に向けて								
2年生《前期1・後期2》	・様々な学習活動を通して、視座を広げたり、多角的な見方を身につける。 ・地域の特徴や課題と向き合い、その対策や課題点を共有し自己の課題として取り組むことができる。												臨海実習に向けて												1・2年合同奈良めぐり												臨海実習に向けて								
3年生《前期後期2》	・人々の平和や幸せについて考え、自己の研究テーマに基づいて探求活動を行い、仲間や保護者など外部へ発信ができる。 ・地域の課題や問題に目を向け、自らも参画できる態度や意欲を育てる。																																												

1・2年合同奈良めぐりのシステム

一二年生を7つのグループに縦割り、それぞれの視点で奈良から学ぶ地域密着型探究フィールドワーク



2023年度1・2年合同奈良めぐり

《7つのコースのタイトル》

NEW! A 受け継がれる文化財、奈良と伎楽	NEW! B 奈良の雑誌を読み解く	UPDATE C 奈良の水産業！？	NEW! D 大和茶の魅力を再発見しよう	NEW! E 奈良の文化財 や技術にふれる	UPDATE F 春日山をシカが喰う	UPDATE G 先輩の働く姿と 世界遺産
--	--	---	--	---	--	---

奈良

Aコース

Course A

受け継がれる美と音
Inherited beauty and sound

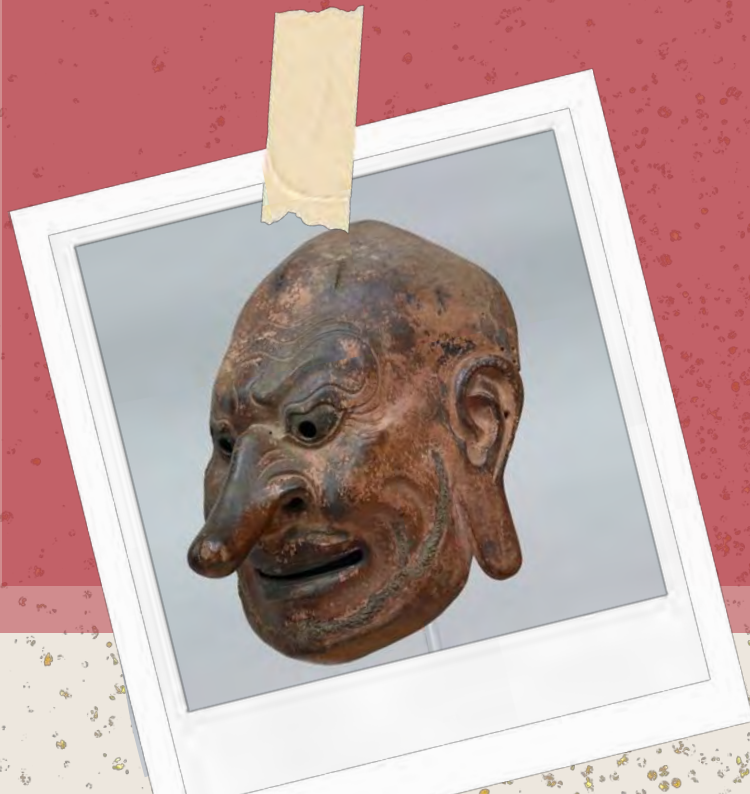
—奈良と伎楽—

Nara and Gigaku



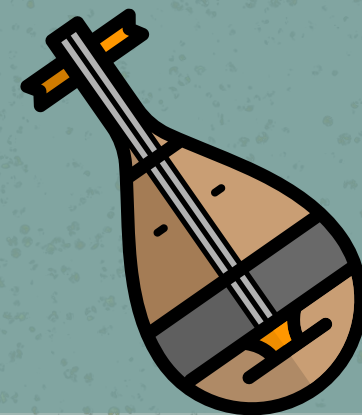
-GIGAKU- 伎楽

- ・ 無言劇。
pantomime
- ・ 着ぐるみの頭部分のような面をつけて演じられている
Like the head of a stuffed animal
It is played with a mask on.



雅楽 -GAGAKU-

- ・ 源流（中国から伝わった伎楽など）
The origin of this art is Chinese Gigaku
(traditional performing arts).
- ・ 演奏や舞をする伝統的な芸能。
Traditional performing arts of playing
and dancing. performing arts.



事前学習で行ったこと

What we did in the pre-study



藤森神社での
雅楽鑑賞

Gagaku viewing at
Fujimori Shrine

佐藤教授からの
お話

A talk from
Professor Sato



紺 丹 緑 紫

伎楽面づくり

making masks
for Gigaku



小鼓体験

kotsuzumi
experience



基礎的な知識を学んだ
I learned basic knowledge.



春日大社

Kasuga Taisha Shrine



奈良県立美術館

Nara Prefectural Museum of Art



世界遺産の **春日大社**
World Heritage **Kasuga Taisha Shrine**

約3000個の
石の灯籠
About 3,000
stone lanterns



奈良県立美術館
Nara Prefectural Museum of Art



お面の特徴
を知った
I learned the
characteristics of
the masks.

ワークショップ
workshop
↓
コミュニケー
ションの重要さ
The Importance of
Communication

学んでわかったこと

What we learned



奈良の文化は
絶滅危惧!?
The culture of Nara
is **Endangered!?**

学習は繋がって
いる!!

Utilize learning
from a year ago

SDGsとの
繋がり

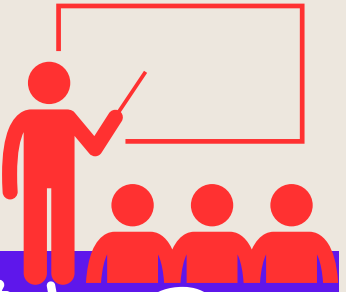
Connection with the
SDGs Connection
with **SDGs**



THE GLOBAL GOALS

他の授業との
繋がり

Connection with
other classes
Connection with
other classes



経験したからわかった!!
I know because I experienced it!!

2025年度1・2年合同奈良めぐり

《7つのコースのタイトル》

UPDATE A イチゴで惹き出す 奈良の魅力	NEW! B 茶道×和菓子が紡ぐ つながりと未来	UPDATE C 天然記念物指定百周年 春日山原始林と 地球温暖化	UPDATE D 古地図散策コース	NEW! E 奈良の戦争遺構を めぐって平和を考える	NEW! F 綿と人を紡ぎ、 縋る	UPDATE G 牧場から考えるSDGS 身近な世界遺産 (特別支援学級)
--	---	--	--	---	--	--

1・2年合同奈良めぐり

C 春日山原始林と 天然記念物指定百周年 地球温暖化



天然記念物100周年

春日山原始林と地球温暖化

OCTOBER 10

春日山原始林

春日山原始林のすごさは奈良のすごさ！！

春日山原始林とは、奈良市にある国の特別天然記念物であり、「古都奈良の文化財」の一部として世界遺産にも登録されている、手つかずの自然が残る原生林です。1100年以上前から春日大社の聖域として狩猟・伐採が禁じられていたため、市街地に隣接していながらも、希少な植生や多様な動植物が今なお生息する、学術的に非常に貴重な森林です。



原始林

調査方法

二酸化炭素固定量・胸高直径の求め方

二酸化炭素固定量がどれくらいの量があるのかについて調査しました。二酸化炭素固定量とは二酸化炭素を樹木の光合成で吸収された量のことを言います。年間の二酸化炭素固定量を求める計算式は $0.111 \times \{ \{ (\text{胸高直径}) + 1.1 \} - (\text{胸高直径}) \}$ = 二酸化炭素固定量と求めることができます。
(日本における都市樹木のCO₂固定量算定式 国土交通省 松江正彦ほか より引用)

計算式にある胸高直径を調べるにはまず調べる木を決めて地面から1.2mの位置の幹の直径を測ることで、求めることができます。

結果と考察

調査地について

二酸化炭素固定量

春日山原始林の調査結果
145本で 25286kg=25.286tの二酸化炭素を固定

- ・重複して計測している可能性あり
- ・面積はおおよそで算出(概算している)
- ・計測できていない木がある

(実際の調査ではナンバーテープをつける)

住宅
年間約3,941.43軒
のCO₂を固定

また車の場合1kmあたりのCO₂排出量は約127gで
約76,656,228km分
のCO₂を固定

地球温暖化

地球温暖化解決を春日山と共に

地球温暖化は人間の活動によって温室効果ガスや二酸化炭素が増えることで海面上昇や気候変動、気温上昇したりすることです。そこで春日山のような森林は光合成によって二酸化炭素を吸収して酸素を発生するので温暖化を防ぐことができます。また、春日山は多くの生物、植物が住んでいるので、春日山を守ることは生態系を守ることにつながります。身近な自然を守っていく心得が今後を左右していくのです。

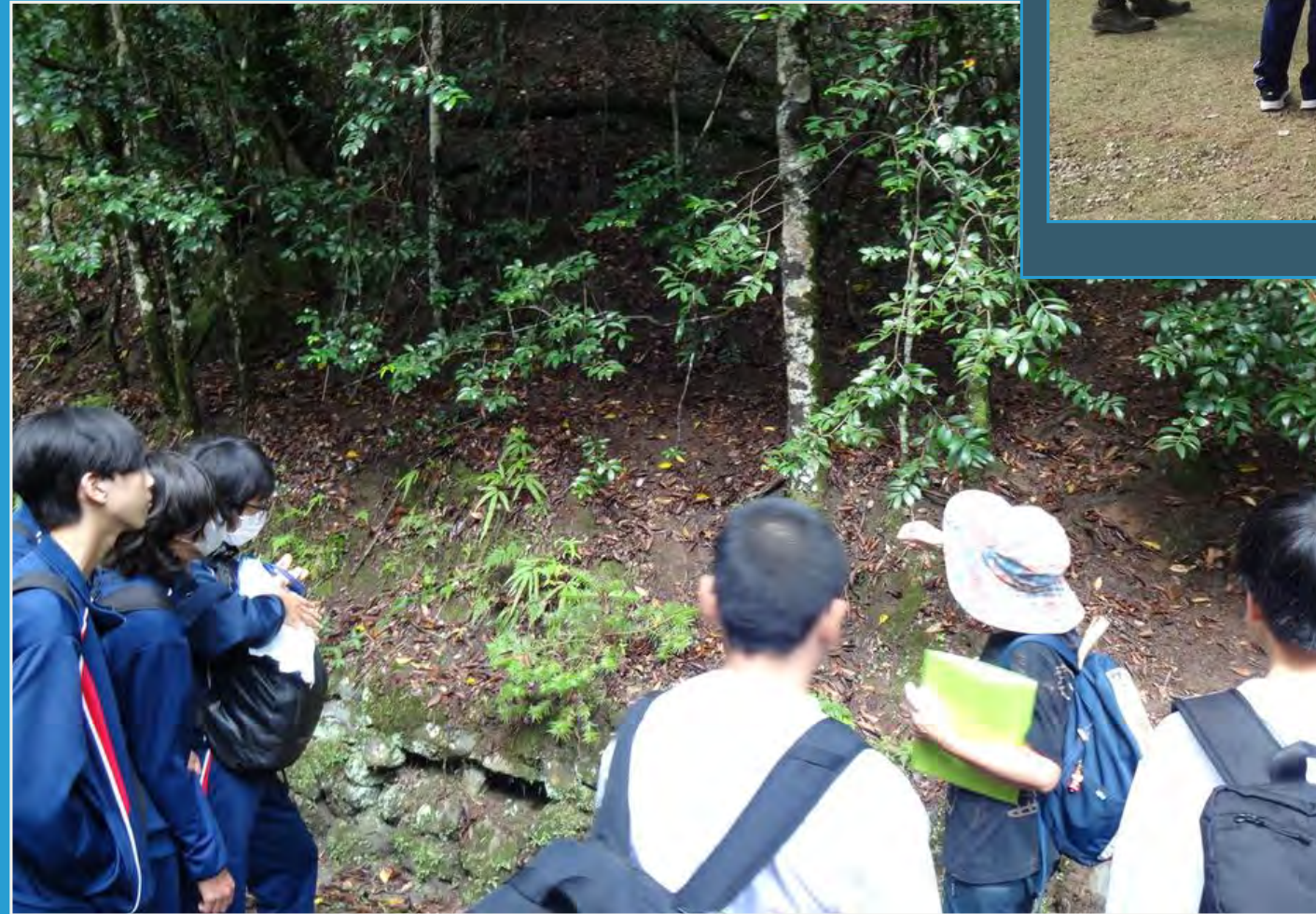


《過去の春日山原始林コースでの学び》

- ・生育する動植物について知る
- ・生物多様性について知る
- ・シカの食害（鹿害）の問題
- ・ナラ枯れの問題
- ・外来種の問題

《お世話になった方々》

- ・春日山原始林を守る会



1・2年合同奈良めぐり

C 春日山原始林と 地球温暖化 天然記念物指定百周年

今年のテーマは、春日山原始林が私たちの生活に与える影響とは？



天然記念物100周年

春日山原始林と地球温暖化

OCTOBER
10

春日山原始林

春日山原始林のすごさは奈良のすごさ！！

春日山原始林とは、奈良市にある国の特別天然記念物であり、「古都奈良の文化財」の一部として世界遺産にも登録されている、手つかずの自然が残る原生林です。1100年以上前から春日大社の聖域として狩猟・伐採が禁じられていたため、市街地に隣接していながらも、希少な植生や多様な動植物が今なお生息する、学術的に非常に貴重な森林です。

原始林



調査方法

二酸化炭素固定量・胸高直径の求め方

二酸化炭素固定量がどれくらいの量があるのかについて調査しました。

二酸化炭素固定量とは二酸化炭素を樹木の光合成で吸収された量のことを言います。

年間の二酸化炭素固定量を求める計算式は

$$0.111 \times \left[\left\{ (\text{胸高直径}) + 1.1 \right\}^2 - (\text{胸高直径})^2 \right] \times 2.6173$$

= 二酸化炭素固定量と求めることができます。

(日本における都市樹木のCO₂固定量算定式 国土交通省 松江正彦ほか より引用)

計算式にある胸高直径を調べるにはまず調べる木を決めて地面から1.2mの位置の幹の直径を測ることで、求めることができます。

結果と考察

調査地について

二酸化炭素固定量

春日山原始林の調査結果

145本で 25286kg=25.286tの二酸化炭素を固定

- ・重複して計測している可能性あり
- ・面積はおおよそで算出(概算している)
- ・計測できていない木がある

(実際の調査ではナンバーテープをつける)

住宅

年間約3,941.43軒_{のCO₂を固定}

また車の場合1kmあたりのCO₂排出量は約127gで

約76,656,228km分_{のCO₂を固定}

1・2年合同奈良めぐり

C 春日山原始林と 地球温暖化 天然記念物指定百周年



二酸化炭素固定量・胸高直径の求め方

二酸化炭素固定量がどれくらいの量があるのかについて調査しました。

二酸化炭素固定量とは二酸化炭素を樹木の光合成で吸収された量のことを言います。

年間の二酸化炭素固定量を求める計算式は 2.6173

$0.111 \times \{ \{ (\text{胸高直径}) + 1.1 \} - (\text{胸高直径}) \}$
= 二酸化炭素固定量と求めることができます。

(日本における都市樹木のCO₂固定量算定式 国土交通省 松江正彦ほか より引用)

計算式にある胸高直径を調べるにはまず調べる木を決めて地面から1.2mの位置の幹の直径を測ることで、求めることができます。

地球温暖化

地球温暖化解決を春日山と共に

地球温暖化は人間の活動によって温室効果ガスや二酸化炭素が増えることで海面上昇や気候変動、気温上昇したりすることです。そこで春日山のような森林は光合成によって二酸化炭素を吸収して酸素を発生するので温暖化を防ぐことができます。また、春日山は多くの生物、植物が住んでいるので、春日山を守ることは生態系を守ることにつながります。身近な自然を守っていく心得が今後を左右していくのです。



二酸化炭素固定量

春日山原始林の調査結果

145本で 25286kg=25.286tの二酸化炭素を固定

- ・重複して計測している可能性あり
 - ・面積はおおよそで算出(概算している)
 - ・計測できていない木がある
- (実際の調査ではナンバーテープをつける)

住宅

年間約3,941.43軒 のCO₂を固定

また車の場合1kmあたりのCO₂排出量は約127gで

約76,656,228km分 のCO₂を固定

歴史・地理・文化

古地図散策

奈良公園ランドスケープ

歴史探訪コース（多聞城）

春日大社の現在・過去・未来

"大仏鉄道から見たこれからの交通

大仏鉄道から見たこれからのまちづくり"

「万大帳2021」～伝統と歴史が息吹く東向北町の未来を想う～

伝説の町「奈良」コース～民話・伝説探訪～

流域から人と水の関わりを考える

茶道の歴史を受け継ごう

茶道×和菓子が紡ぐ“つながり”と“未来”

文化 墨 筆

文化探訪コース（奈良工芸館～国立博物館～墨づくり）

共に奈良で暮らす～多文化共生～

大和茶の魅力を再発見しよう

脈々と受け継がれる奈良の文化財や技術にふれる

藁から考える奈良と伝統文化

奈良の伝統工芸と私たち

奈良から発信！人生100年時代の靴ってどんな靴？

守り人との出会い～奈良の文化財から未来を考える～

めためた大和郡山市を知ろう！

奈良の水産業！？

大和野菜

綿と人を紡ぎ、縫（よ）る。

イチゴで惹き出す奈良の魅力

人力車と奈良

奈良の雑誌を読み解く。

産業

【特別支援学級】先輩の働く姿・身近な**世界遺産**
牧場から考えるSDGs

自然

共生 奈良シカ

春日山原始林

ミツバチから生き方を考える

人と動物が共生する社会の実現に向けて

平和観光

奈良の戦争遺構をめぐって“平和”を考える

観光とホスピタリティ

ESDティチャー制度

奈良教育大学ESD・SDGSセンター

《ESDを指導できる教員に求められる資質・能力》

教師としての基盤的力量

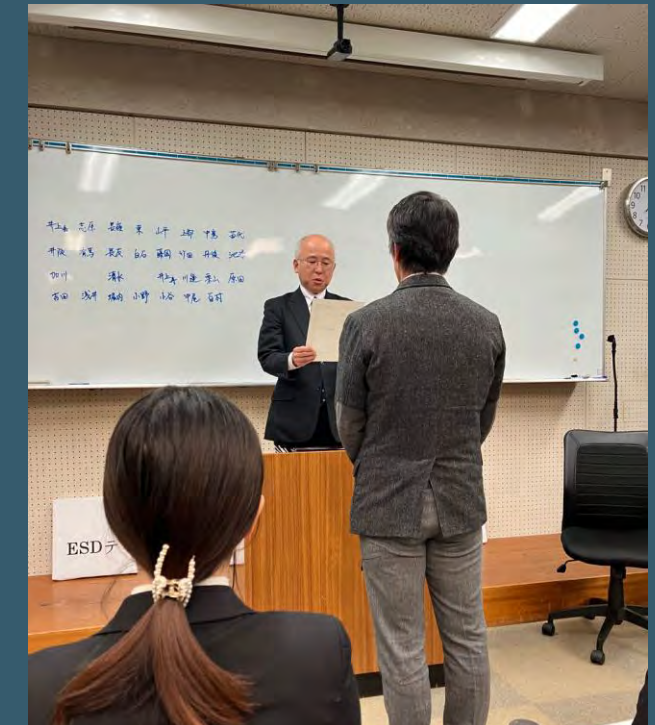
+

豊かな教養や、
持続可能な開発目標(SDGs)への関心

+

地域で教材を発見し、教材開発を行い、
単元をデザインする力

半数以上の教員が取得
スペシャリストが5名
(他校のESDティチャープログラムにも参加)



本校ESDティチャー資格 取得率 73%

公立中学校からの研修制度利用教員も取得し、
公立校へ戻り実践を広める。

令和7年度教員名簿

1			
2		1	スペシャリスト
3		2	スペシャリスト
4		3	ティチャー
5		4	ティチャー
6			
7		5	ティチャー
8			
9		6	スペシャリスト
10		7	ティチャー
11		8	ティチャー
12			マスター
13		9	スペシャリスト
14		10	ティチャー
15		11	スペシャリスト
16		12	ティチャー
17		13	スペシャリスト

18			
19			
20		14	ティチャー
21		15	ティチャー
22		16	ティチャー
23		17	ティチャー
24			
25		18	ティチャー
26		19	ティチャー
27			
28			
29		20	ティチャー
30		21	ティチャー
	スペシャリスト	6	20%
	マスター	1	3%
	ティチャー	15	50%
		22	73%



NEW

奈良教育大学ESD・SDGSセンター・ポータルサイト

ESD学習指導案アーカイブQ

Education for Sustainable Development
ESD Portal
奈良教育大学 ESD・SDGs センター ESD ポータルサイト

TOP NEWS&TOPICS ESD活動日誌

ESD学習指導案アーカイブQ



ESDティーチャープログラム▽ / ESDプロジェクト▽ / ESDネットワーク▽ / 近畿ESDコンソーシアム▽



700件以上の指導案が公開されている



大切にしたいこと



- ・ 本物から学ぶ、自分で学ぶ、リアルな課題にあたる体験
- ・ 社会を創る。社会に根差す。当事者としての自分を知る
- ・ 知る→学ぶ→考える→伝える・・・学びの連続性

実現するためには

- ・ 地元の教育資産を掘り起こすことができる教員の育成
- ・ 教員の情報交換とサポート体制づくり



最後に

講演の機会をいただきありがとうございました。

ESD・SDGSの活動が
効果を発揮するには
ネットワークが重要！

今後とも、
奈良教育大学附属中学校
をよろしくお願いします。



ここにしかない
出会いと仲間
それが未来の宝物



附中のブログ！毎日の学校生活をUP



2024年度1・2年合同奈良めぐりリーフ



附中Instagramを始めました。



新しい制服について紹介します。



奈良教育大学附属中学校は2008年よ